

コ  
ス  
夫 健壱  
バンバン  
芳太郎

# 新宿フォーカンシングが 流れる街

新宿文化センター 大ホール

平成29年10月7日(土)  
16時開演(15時30分開場)

1970年代の主役、『団塊の世代』  
日本のフォークソングは、アメリカのフォークブームから飛び火をし、  
この世代と共に忘れられない音楽としてフォークソングがあります。



## ご利用のご案内

- 当日のチケットであれば、1枚で複数店舗でのご利用が可
- 店頭にてチケット（半券可）を必ずご提示ください。
- 特典の詳細については、店舗のスタッフにおたずねください
- 新宿文化センターでご鑑賞になりました当日のチケットに
- 特に記載のない場合、チケット1枚につき1名さまの特典
- 団体でのご利用ご希望の場合、各店舗へ事前の電話予約を

チケット・  
チケット半券  
サービス  
ご利用方法

1 フォークソングが流れる街の  
(特典は当日のみ有効です)  
チケットをお持ちのうえ…

2 対象店舗で注  
チケットの半  
お見せください

### ①居酒屋 千草

新宿 3-34-3 Tel.5357-7822

#### ドリンク1杯サービス

※チケットの提示の方

新宿三丁目で昭和11年に開店した老舗居酒屋です。2014年2月3日にリニューアルオープンいたしました。家庭的な雰囲気のお店で、おひとり様でも安心して飲むことができます。お気軽に立ち寄りください。

### ②和平飯店

歌舞伎町 2-1-2 Tel.3209-5390

#### ドリンク1杯サービス

※1人様 2000円以上のご利用

美味しいお酒と、美味しいお料理をご用意して皆様のお越しをお待ちしております。  
※ご注文時に提示の方に限ります。

### ③アカシア新宿本店

新宿 3-22-10 Tel.3354-7511

#### 本日のワイン1杯サービス

※チケットの提示の方

1963年(昭和38年)にロールキャベツシチューのお店として新宿にて開業。自家製のハム・ソーセージ、ハヤシソース、極辛カレーなどオリジナルティーあふれる料理を作り出していました。「しっかり食べて、しっかり飲める」お店で、皆様のお越しをお待ちしております。



趣味は、フリノ、歌謡、日軒車、浴衣、歌謡、かりくじ収集、など多岐。

音楽では高石ともや、西岡たかし、高田渡らに影響を受けフォークソングに傾倒し、1970年全日本フォークジャンボリーに飛び入りしデビュー。1972年ファーストアルバム「万年床」をリリース。音楽活動の他、独特のキャラクターでテレビ、ラジオ、映画、ドラマの出演や、新聞、雑誌等の執筆でも活躍。現在、月刊日本カメラ「町の残像」、月刊デジタルカメラマガジン「酒場の情景」、季刊ビール王国「天邪鬼なビール党」、コンビニコミックス思い出食堂「バチ当たりの昼間酒」、東京スポーツ紙「オヤジの寝言」に連載中。歌手として全国各地でのコンサート、ライブの他、東京・吉祥寺MANDA-LA2のライブ（基本的に毎月最終土曜日に開催）は休むことなく35年以上も続けている。

『ランコ』でデビューし、いきなり大ヒット。

『さよならをするために』もビッグセールスを期し、第23回で最も長く活動を続ける兄弟デュオ」として、現在は担当CMで、そのソフトなアコースティックサウンドを聴かせ

恋して』を発売。

バーチ、大ヒットとなる。

て脳出血で倒れ、それ以降左半身麻痺になるが、懸命なりながら、2017年3月25日には「3年越しの45th Anniversary～兄と弟復活を遂げる。今年7月26日には初のDVD、9/2には初の自叙傳。50周年、60周年に向け、ビリー・バンバンは進み続ける。



## 斎藤哲夫

1950年4月4日埼玉県鴻巣市生まれ。東京・大森で大衆食堂を営んでいた両親の一人息子。1970年「悩み多き者よ」でデビュー。「若き哲学者」と呼ばれフォーク界に新風を巻き起こす。1973年アルバム「バイバイグッバイサラバイ」を発表。その後も「グッド・タイム・ミュージック」「僕の古い友達」など名盤を残す。1980年には宮崎美子のCMでおなじみの「いまのキミはピカピカに光って」が大ヒット。現在も全国のイベント、ライブハウスなどで活躍している。

れ。1970年8月仲井戸麗市らと「古井戸」を結成から「唄の市 第一集」でレコード・デビュー。エレック、ルバム9枚を残す。1979年11月 久保講堂にて「古井戸」解散ブとアルバム制作活動を行う。

生の協力を得てアルバム「キッス・オブ・ライフ」を発表、「崎芳太郎トリオ」結成チッタ・レコーディングスから2枚の映画作品「119」に忌野清志郎とサウンド・トラック制作へ長野県諏訪へ移住。Piano~Fortelを発表

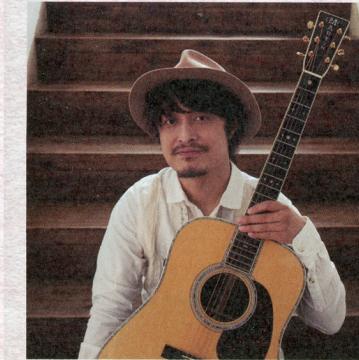


エレックレコードよりアヒュー。「ハツキンミュージック」などの深夜放送でも人気を集めた。1981年映画「青春の門」の音楽「織江の唄」がヒットする。1994年、初カバーアルバム「十八番」(おはこ)がレコード大賞「企画賞」など数々の賞を受賞する。1990年から舞台女優としても活動し、2010年長編映画「ヘヴンス」で最優秀助演女優賞を受賞。エッセイや映画、楽曲提供など43年目のフォーク歌手である。



## マイベース

森田貢（ヴォーカル ギター）伊藤進（フルート）根次男（ギター）秋田県潟上市の羽城中学校の同級生らが結成。1972年フォークシンガー山平和彦のバックバンドとしてアルバムに参加。1974年シングル『東京』でビクターレコードよりメジャーデビュー。ロングセラーとなり、BEGIN 敏いとうとハッピー&ブルー 丸山みゆき等多くのアーティストによってカバーされている。1978年シングル『乾杯』発表。その頃 根次男がグループを抜け1980年代前半まで森田 伊藤で活動を続ける。森田はアーティストとして数多くの楽曲を提供。2000年自身のソロアルバム『1/M さよならの数だけ』を新星堂(オーマガトキ)より発表。2011年4月12日『NHK歌謡コンサート』にオリジナルメンバーで出演 根を加えた活動も再開。都内近郊では森田 伊藤とキーボードのhirokoをサポートメンバーに加え活動している。今後もテレビ ラジオ ライ



## 高田漣

1973年、日本を代表するフォークシンガー・高田漣の長男とを始める。17歳で、父親の旧友でもあるシンガーソングライターショーン・デビューを果たす。ステール・ギターをはじめとするYMO、細野晴臣、高橋幸宏、斎藤和義、森山直太朗、等のレコソロ・アーティストとしても6枚のアルバムをリリース。2007年シングルズのTVCに出演。2013年から、映画「横道世之介」など数担当。2013年6月、豪華ゲスト陣が参加したソロ・アルバム高田漣の没後10年を機にトリビュート・アルバム「コーヒープルーフ」が発売。今秋10/4には4年ぶりとなるオリジナルアルバム「ナイトライ



フォーク・ソングが全盛を極めていた頃から考えると、40年以上の歳月が経たんと手もそれに乗じて歳を取ってしまったのだが、過年とともにフォークそのものも歳を知らない。フォークは決して色あせてはいない。40余年の年月から考えれば、往時のフォークのかもしれないが、そう決めつけてしまうことはいささか早計である。そうした歌いわけではない。歌だけを聴きたいと思っている人たちもいないわけではなく、また懐メロとしてしまうなら、そこに帰依しているからに他ならない。

どっこいフォークは現在進行形である。時代にあったブームだけをとらえるのではなく、いただきたいし、聴いていただきたい。

『新宿フォークソングが流れる街』も3回目を迎えるにいたった。かつてはこうしたオトが連日のように開催されていた。演者は個性を前に押し出し、またぶつけ合ってサートは個々のステージやライブにはない味わいがあるはずである。